



新緑

しんりょく



【発行】社会福祉法人 新緑福祉会 / 神戸市西区玉津町水谷字セリ合400-7 TEL.078-913-1277 FAX.078-913-1137 <http://www.shinryoku.or.jp/>

雑 感

社会福祉法人新緑福祉会 理事 寺本 迪彦



六甲山の山並み、街路樹、咲き誇る花、新緑があざやかで春の息吹きを感じるこの頃です。

日頃から社会福祉法人新緑福祉会に暖かい支援をいただき新緑福祉会の理事一人として厚く御礼申し上げます。

私は、昭和42年(神戸開港100年)に児童福祉施設(児童養護施設)へ配属され、障害(児)者施設等福祉現場で、又、大学の教員を含め、50年の月日が経過しました。その間の経験を雑感として述べさせていただきます。

①50年間の福祉の現場で学んだことは、「人に対する思いやりの心」、「命の尊さ」です。利用者、保護者、同僚の職員に対し、地域の人たちにどのような態度で、誠実に接していくのかとても大切なことだと思います。

②昭和56年国際障害年「完全参加と平等」をテーマにマスコミに取り上げられました。一定の理解は進みましたが、未だに障害施設建設反対運動、昨年の相模原市で元職員による痛ましい殺傷事件がありました。「障害者差別解消法」が施行されて一年がたちますが、未だに差別、偏見の残る社会に、障害者の正しい理解のための啓発運動を継続していく必要があります。「心のバリアフリー」を解消し、真の障害者に対するノーマライゼーション社会に向かうためにも。

③国は現在、障害施設

の施策の方向として、

地域の中で皆に支えられて豊かな生活の実現に向けて取り組んでいます。家族の願いは「親なき後の保障を」との願いが強くあります。地域で支えていくことも大切ですが、入所型の施設建設もあわせて進めて欲しいと思います。

④新緑福祉会が運営します施設を見学させていただきました。職員の資質の向上、保護者とどのように接しているかが気になりました。利用者にとどのよう支援をしていけば良いか、悩んでいる支援者もいました。今は、施設だけで問題解決をしようとせず、地域の社会資源の活用、福祉・教育・医療のネットワークの活用がとても大切だと思います。

最後に、新緑福祉会は、平成30年度の完成を目指してグループホーム等の新たな事業を計画しています。ご支援をよろしくお願いいたします。



平成29年度 資金収支予算内訳表

新緑福祉会

単位(円)

勘定科目	当年度(当初)	勘定科目	当年度(当初)
就労支援事業収入	14,718,000	施設整備等寄付金収入	5,341,000
障害福祉サービス等事業収入	905,062,000	施設整備等収入計(4)	5,341,000
借入金利息補助金収入	2,553,000	設備資金借入金元金償還支出	11,941,000
経常経費寄附金収入	4,100,000	固定資産取得支出	400,000
受取利息配当金収入	55,000	施設整備等支出計(5)	12,341,000
その他の収入	11,060,000	施設整備等資金収支差額(6)=(4)-(5)	▲7,000,000
事業活動収入計(1)	937,548,000	積立資産取崩収入	3,462,000
人件費支出	638,409,000	拠点区分間長期借入金収入	2,500,000
事業費支出	112,576,000	拠点区分間繰入金収入	46,002,000
事務費支出	126,952,000	その他の活動収入計(7)	51,964,000
就労支援事業支出	14,718,000	積立資産支出	6,381,000
支払利息支出	2,452,000	拠点区分間長期貸付金支出	2,500,000
その他の支出	8,680,000	拠点区分間長期借入金返済支出	1,000,000
事業活動支出計(2)	903,787,000	拠点区分間繰入金支出	46,002,000
事業活動資金収支差額(3)=(1)-(2)	33,761,000	その他の活動支出計(8)	57,183,000
		その他の活動資金収支差額(9)=(7)-(8)	▲5,219,000
予備費支出(10)			21,542,000
当期資金収支差額合計(11)=(3)+(6)+(9)-(10)			0

新緑福祉会役員等名簿

平成29年4月1日現在

役員		評議員	
理事長	平田 健次	評議員	濱田 泰二
理事	竹山 昭治		松端 信茂
理事	寺本 迪彦		出来 竝江
理事	戸江 美津子		丸山 昭枝
理事	中橋 廣美		扇本 典子
理事	広瀬 真奈美		苗村 五十鈴
理事	川添 宏史		古井 豊
理事	正心 徹		藤原 民子
監事	由岐 透		岩居 昭生
監事	三木 奈留美		



明るい未来へ

グリーンホーム平成 保護者会 会長 土井 理恵



養護学校を卒業後グリーンホーム平成に入所し、早いもので8年が経ちました。我が子 敬(たかし)は、アンジェルマン症候群です。重度の知的・運動発達障害があります。しあわせの村という恵まれた環境の中で、先生方に優しく寄り添っていただき、温かく見守っていただきながら毎日楽しく通園しています。

保護者会では、先輩方が開設当初より長年に渡り礎を築いて下さり、子を思う熱い心に触れることができました。明るく和気あいあいとしたお母様方の、

お仲間に入れていただけたことを、とても幸せに感じています。

時代の流れとともに、社会情勢も、そして福祉の取り組みも変化しています。しかしその中で未だに知的障害に関しては、身体障害や老人福祉に比べ、理解を得ることが難しいことも否めません。今後も私たち親が、子供たちの代わりに声を上げて行かねばならないと思っています。

新緑福祉会は今、新たな事業に向けて大きく動き出しました。実のところ我が子が26歳を迎えた今でもショートステイを一度も利用できていません。なかなか親離れできないと思っていますが、実際は、私の子離れの方が問題のようです。私たち親子にとって新たな一歩を踏み出せるのではと、これからの展開を心待ちにしています。また、重度・高齢化という問題が刻一刻と迫る現状で、私たちに明るい未来をもたらしてくれることを心より願っています。

ご寄贈いただきました

《玉津むつみの家保護者会より》平成29年3月

洗濯機(シャープEs-KS70S-N7kg用)をご寄贈いただきました。大切に使用させていただきます。ありがとうございました。【玉津むつみの家】



《緑友会(緑友保護者会)様より》平成28年12月

食堂で使用する椅子を20脚ご寄付いただきました。実習や体験に多くの人を受け入れることができます。ありがとうございました。【ワークホーム緑友】



《北区歳末たすけあい募金様より》平成29年3月

歳末たすけあい募金の配分金で、カラオケクラブで使用する新しい曲のチップ、野球のグローブ、作業で使用するスタンドライト、血圧計を購入させていただきました。どれもすぐに必要だったものなので助かりました。【ワークホーム緑友】



《善意銀行(長田区歳末たすけあい募金)様より》平成29年3月

善意銀行助成金で物干し台を購入させていただき、洗濯物が整然と干せるようになりました。また、歳末たすけあい募金の配分金で、玄関アプローチの割れていたレンガもきれいに補修することができました。どうもありがとうございました。



【滝谷ホーム】

《北区歳末たすけあい募金様より》平成29年3月

この度、「平成28年度 歳末たすけあい募金」の配分金の支給を受け、カラオケソフトが入っているニンテンドー Wii Uの本体とマイク2本を購入させていただきました。これからは、音楽クラブの活動などで、利用者の皆さんが大好きな歌を思い思いに歌って楽しむことが出来ます。ありがとうございました。【グリーンホーム平成】



豊かなみどりに囲まれて、活動しています

ワークホーム緑友 施設長 柚木 忠浩



しあわせの村にある「ワークホーム緑友」は、みどり豊かな環境の中で活動しています。

春は梅や桜をはじめとして、さまざまな花に囲まれ、夏は深い緑の木陰で蝉しぐれを聞きながらの活動です。秋に山の美しさを感じ入り、冬には多彩な鳥たちを身近に眺めることができるので、四季折々の癒しがここにはあります。

春と秋の季節のいいときに、そんな屋外で食べるお弁当給食は特に格別の味です。

緑友玄関前のローンボウルス場には、1周約280メートルの見晴らしのよい周回コースがあるのですが、毎朝それぞれのペースで走ったり歩いたりするのに気持ちのいい場所です。リレー大会の前にはその練習場となり、「ひっぱリーグ」に備えては、綱引きに渾身の力を振り絞る利用者の姿がここで見られます。

この朝の時間のほかにも、しあわせの村内にたくさんある散策コースへ出かけたり、村内のプールや体育館への清掃作業、病院周辺等の除草作業に、日々汗を流したりしています。

開設して30年が経ち、そろそろ50歳を迎える人が増えてきますが、利用者の皆さんが意外に粘り強い足腰をしているのは、こんな日々の積み重ねの賜物かもしれません。

いつまでも自分らしく元気に活躍できるように、これからもこの環境の中で伸び伸びと活動していきたいと思っています。

神前ホームの楽しみ

サービス管理責任者 山形 孝博

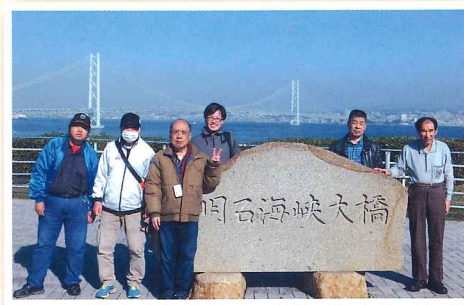
灘区内にあるグループホーム「神前ホーム」では男性4人が日中活動の疲れを癒し、生活の拠点として生活されています。地域の方々に支えられる事も多く、毎年お餅つきにも参加させていただいています。また宿直の方も地域の方が多く、「何かあれば直ぐに駆けつける」とおっしゃっていただいています。

男性4人の方は、50代が1人、60代が3人と高齢(?)とは言うものの皆さんパワフルに活動されており、趣味も写真や旅行、カラオケ、ランニング、寝る事(?)等多彩で、それぞれに楽しまれておられます。

また、神前ホームの行事には食事会(みんなの意見を聞いて店を決めています)、スーパー銭湯での入浴、各自の誕生日会等がありますが、特に楽しみにされているのが、「日帰り旅行」です。

平成27年度は、兵庫県豊岡市にて、出石そばを食べ、芝居小屋の永楽館を見学し、説明を聞きました。少しくつかったですが出石城跡にも登りみんなで出石の町を見渡す事が出来ました。平成28年度は、淡路島にて、おのころアイランドや昼食に淡路牛を食べ、淡路島の松帆の湯で入浴し、夕食に海鮮物を食べ帰ってまいりました。気の早い利用者さんは「今年は何処に行くの?」と質問攻めを職員にあげます。それぐらい皆さんは日帰り旅行を楽しみにされているのだと思いました。

平成29年度も入居者の皆さんの意見を取り入れ満足していただけるような行事や日常生活のサポートを行っていききたいと思います。



「ともに住み続けたくなるまち」をめざして

なだ障害者地域生活支援センター 所長 吉良 正幸



JR灘駅を南に降りると、12階建の建物があります。1階から3階が東部在宅障害者福祉センターで、4階から上は市営住宅です。その1階の奥に「なだ障害者地域生活支援センター」があります。平成14年7月に開設され、職員は、6名います。(他に発達障害者東部相談窓口の担当が3名います。)

主に、市から委託を受け、地域の障害者や保護者等からのいろいろな相談に応じ、情報提供、助言を行うほか、障害支援区分調査、福祉サービス更新時の調査等を行っています。

先日、利用者の方から、「支援センターと繋がっているということだけで安心できる」との暖かい手紙を頂きました。本当にうれしく、電話対応、面談、

訪問、事務処理と忙しい日々ですが、こうした言葉で、元気になり、また頑張ろうという気持ちになります。

「福祉は人なり」と言われます。昨年度、ちゅうおう支援センターと一緒に、相談員として、また事業所としての在り方について議論し、「相談して良かったと思われる相談員をめざす」「一人一人のしあわせを願い、共に歩む支援をする」等の支援センター方針を定めました。今後、この方針に基づき、職員の資質、能力の向上に努めていきたいと思っています。

また、障害者の自立や社会参加を進めるため、関係の皆様方と連携し、課題を協議する場である「灘区自立支援協議会」の事務局も担当しています。現在、85の団体、事業所で構成され、研修会、啓発イベント、なだびときさ(月2回ほど区役所会議室で開催)、災害時要援護者支援のため避難訓練等を行っています。

私どもは、微力ではありますが、協議会の目的である「障害のある人もない人も、地域に住むみんなが、ともに住み続けたくなるまち」をめざして、今後とも日々の仕事に全力を尽くしてまいります。皆様のご理解とご支援をお願い申し上げます。最後に、たいへん、便利なところに立地していますので、ぜひお立ち寄りください。

報告 法人内各事業所で実習等の受け入れをおこないました。(12月~3月)

- 玉津むつみの家
兵庫大学附属須磨ノ浦高等学校、青陽須磨支援学校、青陽西養護学校、青陽西養護学校、豊岡短期大学、青陽西養護学校
- ワークセンターいわや
神戸市立青陽東養護学校 高等部
- ワークホーム緑友
神戸親和女子大学
- 新緑の家
武庫川女子大学
- グリーンホーム平成
神戸親和女子大学(通信)、青陽須磨支援学校

報告 講師派遣をしました。

- 兵庫県社会福祉事業団「相談支援従事者現任研修」報告 平成29年2月8~10日
なだ障害者地域生活支援センター山本主任相談員が、相談支援従事者現任研修のファシリテーターを務めました。
- 「ケアマネリフレッシュサロン」報告 平成29年3月13日
なだ障害者地域生活支援センター山本主任相談員が、六甲摩耶・王子あんしんすこやかセンター圏域のケアマネジャーを対象に、「障害者施策」の説明を行いました。



新人職員の自己紹介

新緑の家



小川 佳代 (おがわかよ) 支援員

最近、感動したこと

娘が小学校を卒業しました。低学年の頃は熱を出したり、怪我をしたり、泣いて登校を渋ることもありましたが、でも学年が上がるにつれて心も身体も強くなり、卒業式での立派な姿を見て胸が熱くなりました。

ここはの家



宇加地 弓起子 (うかじ ゆきこ) 生活支援員補助

私の仕事のモットーや座右の銘

昨年12月より生活支援補助員として働いています宇加地弓起子(うかじゆきこ)です。私の仕事のモットーは「元気に挨拶」です。ドアを開けたら大きな声であいさつ! 帰る時も大きな声で挨拶! 挨拶を最初のコミュニケーションの第1歩としています。まだまだ分からないことだらけですが、今後ともよろしくお願ひいたします。

なだ障害者地域生活支援センター



林 久美子 (はやしくみこ) 相談員

これからの抱負

最初にヘルパーの資格を取ろうと勉強をはじめたのですが、その過程で障害のある方の支援があることを知りました。いろいろな支援がある中でも、相談業務に興味を持ちました。今後は、資格も取得し、仕事にいかせるよう頑張っていきたいです。

グリーンホーム平成



古野 菜摘 (ふるの なつみ) 支援員

これからの抱負

3月から勤めさせていただき、まだまだ慣れないことばかりで、皆様にはご迷惑をおかけしているかもしれませんが、少しずつでも知識と技術を身につけて、質の高い支援を行っていきたくと思っています。利用者の言葉に出来ない思いに気付けるような支援者に早くなりたくと思っています。



宮崎 さをり (みやざき さをり) 支援員

私の好きなこと

旅行大好き! 遊ぶこと大好き! 北は東北、南は九州へ1,300kmドライブしながら各地を満喫しています。週末はスポーツをして、ON・OFFの切り替えをしています!



財田 裕一 (たからだ ゆういち) 支援員

これからの抱負

まだまだ経験、知識共に浅い自分ですので、職員の皆様、そして利用者の皆様と共に学び歩んでいけたらと思います。まずは、利用者の皆様との良き関係を築いて参ります。ご指導ご鞭撻のほど、よろしくお願いいたします。

ワークホーム緑友



大橋 祥一 (おおはし しょういち) 運転手

サッカーと私

私は、4月から運転手として来ています。神戸市のサッカー指導者をして、35年余の月日がたちます。今の仕事はマイナス思考で考えて、出来ない理由ばかりを思い浮かべて、結果的にやらない方を選択する子供が多い。やればできるの考えがない子供が多く、伸びる子供はプラスの発想で物事を考え、できる、やれると考え挑戦しているようです。まだ私は仕事も現役で、福祉とは違った日本の伝統文化、着物の販売をしています。安全運転で長く続けられるように頑張ります。



西野 恵美子 (にし の えみこ) 看護師

私の抱負

私は、看護師として一般病棟の経験しかなく、今回こちらで働かせていただき、毎回いろんな発見があり戸惑うこともありますが、この経験が私自身の成長にもつなげていけるように頑張っていきたいと思ひます。よろしくお願ひいたします。

ボランティア紹介 「玉津むつみの家」

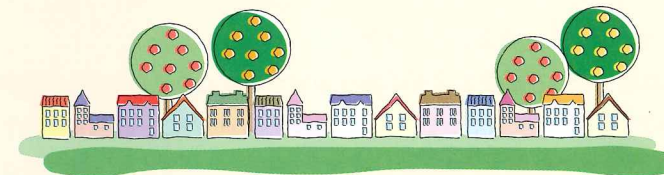
玉津むつみの家 ボランティア 岡田 信子

「B・RAINBOW」に所属の岡田と申します。「玉津むつみの家」では、以前にお手伝いをさせて頂いておりました。辞してから、当時の利用者さんと道で会う度に声をかけてもらい、随分と勇気づけられてきました。機会があればもう一度伺いたいと願っていたところ、偶然にも、昨年12月に「餅つき」のお手伝いをさせて頂く機会に恵まれました。その日を機に再びボランティアとして訪問させて頂いています。利用者さんが覚えてくれているかと不安でしたが、自然に輪の中に入ることができました。

現在は、週一回水曜日の午前中に「体操プログラム」「リトミック」のお手伝いをさせて頂いています。利用者さんは、その日の体調に合わせてリズムをとりながら楽しく体操を行っています。終わった後は心地よい疲れが残りますが、一休みして昼食に入ります。私も皆さんと一緒にごちそうになっています。

ボリュームいっぱい美味しい食事で元気がでます。食器返却時には、不慣れな私がおもたてしていると、利用者さんが傍らに来て教えてくれます。

オープンな施設で個性や特性を生かしながら活動している利用者さんと交われるのは私にとって得難い時間であり、こうした機会を与えてくださった施設長や支援員の皆様に深く感謝しています。これからも健康に気を付けて1日でも長く利用者さんと楽しく過ごしたいと思っています。



緑友's kitchen

ワークホーム緑友 栄養士 田辺 幸子

ワーホーム緑友では、日々の給食はもちろんのこと、七夕やクリスマス・節分などの行事食や、お弁当給食、年度末のイベント食など、普段とは違った内容でも給食を楽しんでいただいています。中でも、お弁当給食は、「しあわせの村」という立地環境を生かして、春は新緑のもと、秋はさわやかな秋空のもと、気持ちの良い空気とともに年に2回、自然の中で提供させていただいています。

今年度も、栄養・健康面に配慮することはもちろんのこと、「おいしく・楽しく・安全に」をモットーに、利用者の皆さんの大きな楽しみの一つである給食を引き続き提供していきたいと思ひます。また、今年度は生活班毎のリクエストメニューを取り入れていきたいと考えていますので、楽しみにしていただければと思ひます。どんなメニューがリクエストされるのか今から楽しみです。



支援者芳名録

【平成28年12月～平成28年3月】

「後援会扱い」

賛助会員名(敬称略)

浅川 文子、森田 幸子、広瀬 真奈美、前田 勝美、由岐 透、筒井 修、戸江 真弓 会費合計 27,000円

寄付者名(敬称略)

ぎゃらりー Café 仁 寄付金合計 22,000円

会費・寄付金合計 49,000円

「法人寄付扱い」

寄付者名(敬称略)

堤 莊祐、正垣 純三、竹山 昭治、奥井 啓介、横山 ひろみ、浦野 真一、三浦 大介
奥井 脩平、(株)奥井工務店、奥井 知己・恵美子、浦野 弘・美樹子、永井 健、小菊 成一
石黒 和夫、三野 昭子

寄付金合計 173,000円

賛助会員勧誘のお願い

新緑福祉会後援会(以下、後援会)は、社会福祉法人 新緑福祉会(以下、法人)に対し、毎年、施設用地の取得に係る借入金の償還金相当額540万円の財政支援をしています。

また、各施設の建物改修、設備の更新等の経費に対しても、毎年、支援をしています。

さて、法人では、平成26年11月に、平成27年度から3年から5年で達成すべき中期計画を定めました。中でも、保護者・利用者の高齢化に伴い、当面の課題として短期入所施設の設置要望が高まっており、しあわせの村内に、重度・高齢化に対応したグループホームと短期入所施設を実現すべく計画を進めています。新たに、施設の建設となりますと、更に多額の資金が必要となっており、資金集めに取り組まねばなりません。

そこで、後援会としては、厳しい社会情勢ではありますが、今後もさらに法人と連携し、収入の拡大に努めます。後援会の設立の趣旨にご理解を賜り、一人でも多くの新しい賛助会員のご勧誘をしていただきますよう、また、すでにご加入頂いております賛助会員の方々には、ご加入の継続をご推奨いたしますよう、お願い申し上げます。

🌿 年会費：(個人会員) 1口 3,000円、(団体会員) 1口 10,000円(1口以上のご寄付をお願いいたします)

🌿 振込先：郵便振込 口座番号：00960-2-145979、加入者名：新緑福祉会後援会

🌿 新緑福祉会のHP(<https://www.shinryoku.or.jp>)に、後援会を関連機関として紹介しています。賛助会員についても掲載していますので、是非ご覧ください。

編集後記

社会福祉法人新緑福祉会の機関紙の第3号をお届けします。ご多忙の中、原稿を寄せていただいた皆様に感謝申し上げます。今後も、多くのご意見を拝聴しながら、より良いものに育ててまいります。併せて、ホームページもぜひご覧ください。

現在、しあわせの村での新規事業の進捗は、建設予定地の樹木の移植を終え、建設に向けての最終段階となっております。建設工事中は、関係の皆様にはご不便をおかけしますが、何卒、ご協力をお願いいたします。

社会福祉法の改正に伴い、平成28年度の決算時期が、今年6月末となり、報告は後日となります。引き続き、健全な運営を心がけてまいります。

お問い合わせ先 新緑福祉会本部 事務局内
〒651-2121 神戸市西区玉津町水谷字セリ合400-7 TEL.078-913-1277 FAX.078-913-1137
<https://www.shinryoku.or.jp>